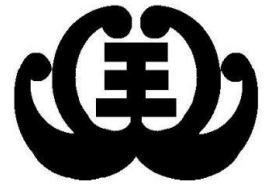


王子ヶ浜小学校  
学校だより第9号

令和5年12月20日

# 王子ヶ浜



〒647-0031 和歌山県新宮市田鶴原町 2-10-1 TEL:0735-22-8431 校長 谷口 幸生

12月、いよいよ2023年も終わりに近づきました。12月のことを師走（しわす）と言います。どっしり構えて読経をする師僧までも走り回らなければと思わせる程の多忙な月であるとされています。誰もが年の瀬をひかえて何かと気忙しく慌ただしくなる時期、慌てずゆっくりと年を越したいですね。また、春待月（はるまちづき）とも言われています。一年で最後の冬となる師走の次は、春の暦である睦月となります。このため、春を待つ月という意味合いから「春待月」とも呼ばれました。春が恋しいですね。

## <学校開放ありがとうございました。>

11月29日（水）～12月1日（金）学校開放を行い、日頃の授業や各学年の行事など、参観していただきました。幼稚園交流、パステルアート、防災授業、防煙教室、公設市場出前授業、キッズサポート、認知症出前講座など、盛り沢山ではありましたが、様々な活動を見てもらうことができました。また、体育館で保護者学級や人權お話し会、学校保健講演会、劇団かしの樹による音楽影絵劇なども行うことができました。



## <人權尊重お話し会>

12月1日に行われた人權尊重お話し会、各学年の代表者が人權について発表してくれました。また、レクリエーションとして、5年生が丹鶴ホールで披露した素敵な歌声も聴かせてもらいました。

今回のお話は、1年かいこはるさん「わたしのかかちゃん」、2年はぎ原あおいさん「ばあばんちのハムスター」、3年下野こはるさん「おっきいばあちゃん」、4年岡本 柊さん「仲直りするまで」、5年山下 豪さん「命とは」、6年山口悠仁さん「文字を学ぶことの大切さ」の6人の作文を発表してもらいました。



大好きな家族のこと、友達の大切さや命の大切さ、当たり前になっていたことなど、様々な角度から人權についてのお話をしてくれました。どの作品も自分の思いをしっかりと伝えてくれた素晴らしい発表でした。

## <第15回城南校区クリーン作戦>

城南中学校と王子ヶ浜小学校、そして、地域の方と一緒にクリーン作戦が行われました。今回は、大浜の海岸とちびっ子広場、松林を10のグループに分かれて、ゴミや木の枝、流木を集めました。短時間ではありましたが、たくさんのゴミを拾うことができました。



みんなが一つになって、地域をきれいすることができて、とても有意義な時間となりました。